

EASL (欧州肝臓病学会) ニュース 2018/7/1 記事より抄訳

【20 ドルの血液検査でアフリカの B 型肝炎の治療適応の判定が容易に】

20 ドルでできる簡易な血液検査が、アフリカの最貧地域で、治療を必要とする何万人もの B 型肝炎患者の診断に役立つ可能性がある。

研究者たちは、肝硬変や肝臓癌を引き起こす可能性のある B 型肝炎ウイルスに対して、直ちに抗ウイルス薬による治療を必要とする慢性感染患者を同定するための、安価な血液検査による診断スコアを開発した。このスコアは、治療が必要な患者を正確に見極めるための 2 つの簡易な血液検査からなる。1 つは、抗原、つまりウイルスによって作られるタンパク質の存在を測定し、もう 1 つは、反応として肝臓によって作り出される酵素を測定するものである。このスコアの正確さは、既存の方法と同程度だが、検査費用は既存のものが 100~500 ドルかかるのに対して、わずか 20 ドルで済む。また、日本をはじめ先進国で治療適応の判定に必要とされている肝臓生検や HBV DNA 測定といった検査は、高度な技術を持った医師や検査技師を要し、サハラ以南アフリカでは大都市の一部施設を除いてできないが、このスコアを用いることでアフリカでも遥かに容易に治療適応の判定をすることができ、最終的にはより多くの治療を必要とする患者を同定し、肝臓病による死亡を防ぐことができると考えられる。

この記事は、”Development of a simple score based on HBeAg and ALT for selecting patients for HBV treatment in Africa” (アフリカにおける HBV 治療を必要とする患者選択のための、HBeAg と ALT に基づく簡単なスコアの開発) とのタイトルで *Journal of Hepatology*(2018.05.024)に掲載された論文からまとめられたもので、パスツール研究所パーマネント・リサーチャーの島川祐輔医師とロンドン・インペリアル・カレッジのモー・ルモワース医師が共著者となっている。

EASL (欧州肝臓病学会) ニュース 2018/7/1 の記事原文はこちら⇒

<http://www.easl.eu/discover/news/20-blood-test-could-help-diagnose-thousands-of-hepatitis-b-patients-in-need-of-treatment-across-africa>

Journal of Hepatology の原文はこちら⇒

[https://www.journal-of-hepatology.eu/article/S0168-8278\(18\)32102-0/fulltext](https://www.journal-of-hepatology.eu/article/S0168-8278(18)32102-0/fulltext)

写真右端はパスツール研究所パーマネント・リサーチャーの島川祐輔医師：2011年12月、西アフリカ・ガンビア共和国における B 型肝炎治療プログラムで現地看護師と共に住民への啓もう活動

